

新規採用予定職員研修会

東部支部

月日 平成三十年二月二十二～二十三日

会場 三島市 箱根の里少年自然の家

参加者 六十五名

東部支部では、三島市箱根の里少年自然の家で一泊二日の日程で行いました。

開会式終了後すぐに野外活動のポイントラリーを行い、昼食は飯盒炊飯でカレーを作りました。野外活動、飯盒炊飯という協同活動で、班の仲間とのコミュニケーションも深まり、活動にまとまりができました。

一日目の午後の講義は「社会人として一番大切なこと」と題してアップハート代表勝又ひで子先生より接遇とマナーの基本を教えてくださいました。また、夕食後に行われた交流会「室内オリオンピック」では、実行委員によるアトラクションのあと、研修生は生き生きとした表情で競技に取り組み、更に団結を深めました。

二日目の講義は「保育園にとって一番大切なこと」を県保育連合会 土山雅之副会長、「あなたにとって一番大切なこと」を県保育士会 吉川慶子会長より、それぞれ保育園、保育士の使命と役割、施設職員としての基礎知識を教えてくださいました。

そして「保育のリスクマネジメントと保

護者とのコミュニケーション」と題し、

東京きぼう法律事務所 町東子弁護士

より、保育施設における重大事故防止について、事例や映像を用いて詳しく教えていただきました。

最後に「現場からのアドバイス」（保育の楽しさを知ろう）と題して、ワークショップを行いました。グループでの活発な討議や実行委員の先生方のアドバイスに、研修生は真剣に耳を傾けていました。

これからもこの仕事を選んだ志を忘れることなく、ひたむきに研鑽に励み、これから出会う子ども達と向き合ってほしいと思います。研修生の今後の活躍を期待しております。

実行委員長 みくに保育園 加藤聖司



中部支部

月日 平成三十年二月二十日～二十一日

会場 静岡県立焼津青少年の家

参加者 八十四名

焼津駅前集合から研修が始まります。バス二台に分乗して青少年の家を目指します。

例年朝一番に集まった研修生がこの二日間の研修の初心表明をすると伝えられます。

初めに所員さんの挨拶、オリエンテーションがあり、班長や生活係など役割を決めて班別行動をします。

講義一は、県保育連合会中部支部長の私、海野が「保育所の使命と役割」というテーマで保育所の法的な位置づけ、社会的な使命についてお話ししました。

講義二では中野恵子静岡県保育士会副会長より「保育者としての役割」というテーマで保育者としての服務規律や危機管理意識、子どもの権利条約などについてパワーポイントを使って分かり易く講演いただきました。

午後には、以前この研修に参加し、現在たちばな保育園で保育士として働いている井原寛人さんより、実際に保育にかかわっての体験談を聞かせて頂きました。

その後は明星保育園の櫻井英世先生の手遊び・歌遊びの実技指導がありました。乳児から幼児までそれぞれの年齢にあったものが紹介されました。午後は、屋外活動でチャレンジラリーを行いました。各班別に十個のチャレンジにかかった時間を競い合い、ここにき

て急に班のみんなとの一体感が高まりました。

夕食後は、各宿泊室で実行委員が研修生の不安や悩みを聞いて助言や勇気づけをしてもらい貴重な時間を持つことが出来ました。

園で実習生を受け入れる時の振り返りや、言葉がけなど私達も学びの時となりました。

二日目講義三は、おもちゃデザイナ―・保育アドバイザーの相沢康夫氏より、「子どもと絵本」というテーマで絵本の楽しみ方をお話いただきました。

講義四は、土方良子先生による「私が目指す保育者を明確にする」というテーマでした。一人ひとりが積極的に参加していただけるよう土方先生により声掛け、指導を頂き、コミュニケーション力がグンと高まりました。

研修生にとっては時間に厳しい盛りだくさんの研修でした。これから、職場の仲間と子どもたちと、そしてその保護者と良い関係で過ごしていけるスキルをお土産に頂いたのではないのでしょうか。四月から研修生の皆さん



の力が大いに発揮できますように、陰ながら応援しています。終わりに、講師の先生方や実行委員の皆様のおかげで本研修が無事に終了できましたことをここに感謝申し上げます。

実行委員長 一番町保育園 海野美代子

西部支部

月日 平成三十年二月十四日～十六日

会場 静岡県立三ヶ日青年の家

参加者 百十八名

西部支部では例年通り二泊三日で研修を行い、百十八名の研修生が参加しました。今回は講義内容を見直し、リトミックをわらべうたの講義へと変えました。

一日目、県保育士会岡本副会長から「保育者としての自覚と責務」の講義を受けました。午後は二時間から三時間かけて班ごとに歩くオリエンテーリングを実施し、チームで助け合ったり、励まし合ったりする大切さを実感しながら親睦を深めることができました。夜には「子どもと絵本をひらくとき」をテーマに絵本についての講義を受け、今までに見ていた絵本であっても、作者の工夫や思いに改めて触れ、その面白さを再発見できました。

二日目、県保育連合会岡田副会長の講義。「保育所・認定こども園の使命と役割」について学びました。「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」最近のネット・ケータイ・スマホ」では、安易なSNSの利用が思わぬトラブルを招き、大きな問

題になる可能性があることがわかりました。午後から「わらべうたを通して育つもの」と「子どもとあそぼう」の二つの講義を受けました。わらべうたは昔ながらのあそびではありますが、子どもたちの情緒の安定や信頼関係を築くことにつながることを学びました。夜の「現場からのアドバイス」では、四月からの勤務を想定し、先輩方に率直な疑問をぶつけ、決意を新たにしました。

三日目、最後に「社会人として一番大切なこと」人間関係と服務接遇」の講義を受けました。三日目ともなると学生気分が抜け、真剣な表情で講義に向かっていました。

三日間という長丁場の研修でしたが、講師や実行委員の先生方の協力のおかげで無事に終了することができました。今回の研修を通して学んだことをいかしながら、まずは保育を一杯楽しみ、素敵な保育士・保育教諭へと成長して欲しいと思います。

実行委員長 ひくまこども園 山田佳敬

